

San-iku 通信



社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

Vol. **36**
2023 SPRING

賛育会：2023年度方針について



社会福祉法人 賛育会 理事長 小堀洋志



5月から新型コロナウイルス感染症の対応が個人に委ねられました。私たちはこの3年間の経験を活かして誰も孤独にしない、孤独にならない、誰もが誰かと心をつなげてともに生きるために、中期3ヵ年計画を進め、もっともっと地域の課題に寄り添う賛育会を目指します。

●2023年度賛育会年間聖句

「あなたがたのうち二人が地上で心をつなげて求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。」
(マタイによる福音書 18章19節より)

- 1. 患者・利用者・園児中心の質の高いサービスを提供する。**
サービス向上の学びと改善を続け、利用者中心のサービス提供を通じて安定した経営を行います。
- 2. 新病院・新施設の将来構想を実現する。**
東京都墨田区内に、賛育会病院の一部機能と高齢者介護施設を併せ持つ医療と福祉の総合拠点造りを進めます。太平の賛育会病院でも、地域の声を聴きながら、「ともに生きる」病院の将来像を明らかにして、計画を定めます。
- 3. 担い手を確保して育成する。**
新人事制度と改定された諸規定を運用して、法令順守を徹底し、利用者とともに生きる担い手を育てます。その働きを通して賛育会を支援してくださる方々の輪も広がります。
- 4. 赤ちゃんのいのちを守るプロジェクトを推進する。**
出生児の遺棄・虐待等を防ぎ、行き場のない母子とともに生きる方法を地域の医療機関、福祉施設、行政とともに考え実行します。
今年度も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



賛育会病院：患者中心の医療

賛育会病院 院長 高本眞一

105年前の1918年に、賛育会として墨田区で母子達を助けたいという東大YMCAの先輩たちの願いのもと、キリスト教の精神の隣人愛の理念を大切に病院が開拓されました。各病院では医療においては医師が中心に行うという意見が多くありましたが、1969年にロンドンのE.BalintがPatient-Centered Medicine(患者中心の医療)を初めて報告いたしました。その後、暫くこの理念は広がりにませんでした。日本の文部科学省ではこの理念を1987年21世紀・医療懇談会で公表しました。東京都立病院は2001年7月に患者権利章典にて患者中心の医療の理念を発表しました。しかし、医療の現場はしばらくこの理念がまだ十分理解されていませんでしたが、厚生労働省は2016年10月に「新たな医療の在り方を踏まえて医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」でこの理念を発表しました。この理念がやっと日本の病院でも広がってきましたが、各病院がこの理念を全て理解してないこともあります。私は昨年9月日本心臓血管外科学会雑誌に「患者中心の医療を病院でいかにするか 医療事故の判断」と

いう論文を書きました。全国でこの理念が広がることを期待しています。「患者中心の医療」の理念は世界的に広がっていますが、各病院にいる全医療者の中でこの理念をしっかりと認識しない状態で、自分たちのことを第一に考えることもまだあるようです。

賛育会病院はキリスト教精神の隣人愛の理念を持っていますので、「患者中心の医療」の理念をしっかりと認識し、さらに病院長として職員との交流を通し話している「患者とともに生きる」精神を頑張ることが大切と考え、患者さんのために良い医療を行うことを願っています。



特集
REPORT

賛育会の事業トピックス

地域とともに、今年度も歩み続けます。

高齢者
福祉

豊野事業所 豊野清風園：入浴設備を新しくしました



2022年12月に豊野清風園では2階の入浴設備を新しくしました。座位浴、臥床浴とも設置から12年以上経過しており、次期入浴設備について検討していたところ、当施設職員の叔母様の故飯島阿杜(あもり)氏より設備整備資金の一部をご寄付いただきました。阿杜氏は生前より、福祉施設に寄付をしたいとおっしゃっていたそうです。故人の意思を大切に、大事に使用させていただきます。

豊野清風園では皆様から頂いたご寄付を設備、備品の資金として施設運営に活用させていただいております。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

*ご寄付の申し込みは直接窓口や、法人ホームページをご確認ください。

さんいく保育園：卒園式・入園式・進級式

保育

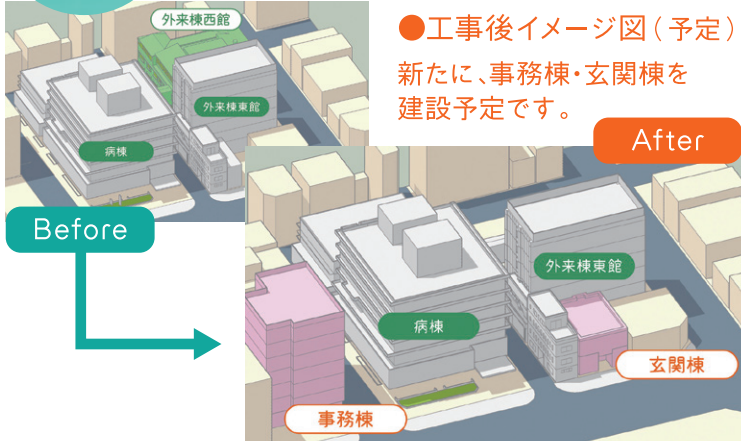
晴天に恵まれた3月4日(土)の午前に卒園式を行い、清澄白河では16名が6つの小学校に、有明では10名が2つの小学校に巣立っていきました。たくさんの祝電をいただき、保護者の方たちも満面の笑みで大変喜んでいらっしゃいました(来年度もよろしく願いいたします)。

4月3日(月)に入園式・進級式を行いました。園長から入園をお祝いするメッセージの後、入園記念のメダルをかけてクラスごとに記念撮影を行いました。午後は進級のお祝いのメダルをクラスごとに一人ひとりに手渡し、子どもたちのとても嬉しそうな表情が印象に残りました。



賛育会
病院

賛育会病院建て替えの第一歩 外来棟西館の解体に向けた工事が始まります



長年の願いであった賛育会病院の建て替えプロジェクトの第一歩として、最も古い外来棟西館の解体工事が始まります。その第一ステップとして、「事務棟」と「玄関棟」の2つの建物を建設します。

「事務棟」は東京清風園跡地に7階建てで、「玄関棟」は法人事務局とセブンイレブンの間に2階建てで完成する計画です。着工は今年7月の予定で、工期は13ヶ月を見込んでいます。建築と同時進行で外来棟を改装し、薬剤科や検査科の移転も計画中です。今後工事の進捗や計画の詳細はホームページでもお知らせしていく予定です。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

賛育会フォトコンテスト2022 受賞作品紹介

賛育会フォトコンテスト2022を開催しました。コロナ禍にあっても、日々の生活や活動の中でたくさんの素敵な場面に出会い、患者、利用者、園児たちの「いき活きの瞬間」をカメラに収めています。各施設から応募のあった60作品の中から、投票によって3作品が選ばれました。



105回目のクリスマス～賛育会と共に～
東海清風園
中山 彩乃さん



**いたいの いたいの
とんでいけ～!**
さんいく保育園有明
黒田 佳那さん



童心～天まで届け～
たちばなホーム
賈 正霞さん

賛育会 創立105周年 ～記念礼拝・式典・感謝会開催のご報告～

2023年3月18日賛育会創立105周年記念礼拝・式典がハイブリット形式(来場とオンライン)でアルカディア市ヶ谷にて開催されました。記念礼拝は、日本キリスト教団東駒形教会の酒井牧師により執り行われ、105周年を迎えた喜びとこれからの賛育会の活動に対し応援メッセージを頂きました。式典では、永年勤続者43名の表彰が行われ、賛育会病院の小川かおりさんから表彰者を代表して謝辞があり、入職当時の病院内設備の様子に触れつつ、病院建て替え計画が始動した今、諸先輩方の教を引継ぎ、ともに生きることの大切さを忘れず病院の発展に寄与したい決意が述べられました。

また、コロナ禍の約3年間、医療・介護・保育の最前線で先が見えない不安と疲弊の連続での厳しい状況が続く中で、患者・利用者・子どもたちの生命を守り続けている職員への感謝を伝える特別企画として「オンラインクイズ大会」を閉式後に行いました。賛育会にまつわることや各施設が立地する地域のご当地クイズなどで束の間のひとときを楽しみました。東京清風園の森田裕康さんが1等当選でロボット掃除機を目録で受け取りました。



酒井牧師による記念礼拝



永年勤続表彰代表の
小川かおりさん



特別企画1等当選の
森田裕康さん

施設長紹介 新施設長のご紹介

豊野清風園施設長:伴 成顕 (長野県長野市)

4月より豊野清風園施設長に着任いたしました伴と申します。2019年の台風被災後「地域の復興なくして賛育会の復興なし」を合言葉に一丸となったこのチームに微力ながらも貢献できればと思います。またコロナが5類になり少しずつ生活を取り戻す中、高齢者施設等における感染対策は当面継続と国の方針があります。ご利用者の生活をどう守り、生きがいを感じられる生活を支援できるのか、職員と共に考えて参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



はなみずきホーム施設長:三好 健太郎 (東京都墨田区)

この度、4月よりはなみずきホームの施設長に着任しました三好と申します。およそ10年ぶりに墨田区の施設での勤務となります。はなみずきホームは墨田区の北東部に位置し、中小企業や住宅に囲まれたアットホームな施設です。長く地域に根差し活動を続けてきた施設の役割を全うすべき職責に戸惑いを感じておりますが、職員とともにご利用者一人ひとりの生活と地域とのつながりを大切にできる施設にしたいと思います。



賛育会クレドへの メッセージ

賛育会は地域の教会の祈りと奉仕にも支えられています。賛育会の理念である「隣人愛」と、2019年に誕生した「賛育会クレド」について、賛育会病院 山崎正幸チャプレンよりメッセージをいただきました。

あなたがたのうち二人が地上で心をつにして求めるなら、
わたしの天の父はそれをかなえてくださる。
マタイによる福音書18章19節より



共に和音を奏できるように ~賛育会「クレド」について思うこと~

賛育会病院 チャプレン 山崎正幸

教会では毎週の礼拝で「クレド」を告白(「声を揃えて同じ言葉を語る」が原意)します。「クレド」は「わたしは信じます」というラテン語。そこから信仰信条そのものを指すようになりました。賛育会にも2019年「クレド」が誕生しました。仕事をする上での指針や、迷ったり悩んだ時に立ち帰る原点を指し示すものとして作成されたのです。

賛育会には、既に「賛育会憲章」「望ましい職員像」「隣人愛の精神」などがあります。しかし、創立百周年を機に、これらの理想・理念を私達自身の言葉で〈声を揃えて語る〉クレドを造り上げることにしたのです。この作成に携わった方々の努力が結実して賛育会で働く「わたしのクレド」が生まれました。「憲章」「職員像」

「隣人愛」とも響き合い、現場で働く人々の思いにも届く言葉が生まれました。何よりも、聖書の言葉を受けとめた声もクレドから聞こえてきます。

掲げた聖句は賛育会の2023年度年間聖句です。この聖句もクレドと響き合っています。「心をつにして」とは「共に和音を奏でる」という意味。まさに、「一人ひとり」の尊厳をまもりつつ「ともに」を志向する声が、両者の間で響き合っています。私達の途上の労苦とともにクレドの言葉も変わっていくことでしょう。クレドを常に生きた言葉として、声を揃えて語る言葉としていきたいものです。



INFORMATION

賛育会へのご支援のお願い

賛育会では、いのちの授業や子ども食堂、高齢者の居場所づくりなど、60を超える様々な地域支援活動を行っています。そして、これらの活動は皆様からのご寄付によって支えられています。災害や感染症の影響下での病院や高齢者施設、保育園の運営は大きな困難に直面しています。

隣人を愛し、ともに生きる精神でこれからも地域に寄り添い続けていくために、より多くのご支援をいただきたく寄付・募金方法の変更を行いました。引き続き、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

お支払い方法がより便利になりました

個人や法人、額に関わらず、年間を通してお受けしています。

郵便振替

現金での寄付

クレジット
カード決済

コンビニ決済

Pay-easy
(ネットバンキング)

銀行振込

詳しくはこちらをご覧ください

賛育会ホームページ

「賛育会へのご支援のお願い」

(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



教会・賛育会交流会報告

豊野事業所と日本キリスト教団 長野教会、清風園と日本キリスト教団 鶴川北教会、第二清風園と日本キリスト教団 鶴川教会、東海事業所と日本キリスト教団 南遠教会・相良教会はその関係を深めてきました。各施設と地域の教会のつながりを築いていくことを願い、2021年度第1回目の交流会を持ちました。そして2022年度も2月14日(火)に第2回目の交流会を持ちました。コロナ禍における賛育会の現場での活動の様子などを報告し、共に考え祈る時を持ちました。酒井 薫牧師(東駒形教会)、横井伸夫牧師(長野教会)、本宮 広牧師(南遠教会・相良教会)、田中雅弘牧師(鶴川北教会)よりご提案やご感想をいただき、各牧師からの賛育会への祈りをもって会を閉じました。賛育会が理念に沿ったサービスをもって地域に奉仕をしていくためにも、教会との関係、キリスト教に基づく隣人愛の理解を深めていきたいと思えます。

オンライン
交流会の様子



San-iku 通信

San-iku通信 Vol.36 2023年 春号

編集: 賛育会法人事務局

発行人: 中村基信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

印刷: (有)エースプリント (20230512-7150)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL: 03-3622-7614

